

Q. 元々空き家だったとは思えないぐらい素敵な住居だと思いました。

ありがとうございます。元々あった装飾を活かしつつ、リサイクルショップなどで手頃な家財を購入して置いています。頑張ってリフォームした甲斐あって、お気に入りの空間になりました。

Q. 今後の計画を教えてください。

本当は広い庭をきれいに整えて畑仕事をしたいんです。でもまだ少し仕事が忙しくて、手をつけられていません（笑）。これは仕事を引退した後の楽しみにしています。

Q. 行政のサポートで何か感じることはありますか？

空き家バンクの制度を利用できたことで、リーズナブルに住居を入手できたことに感謝しております。意見としては、初期段階で自治体の紹介支援などがあれば、地域コミュニティとの関わりがもっと持てたかもしれません。私自身は笠間に常駐しているわけではないので構いませんが、人によっては孤立を感じてしまうかもしれません。



Q. 笠間の空き家ライフを楽しまれているようですね。

実は私、笠間の空き家に1週間ずっといるわけではないんです。単身車中泊の温泉旅行が趣味で、笠間を拠点に福島や栃木へ出かけることもしばしば。夫婦仲が悪いわけでは決してなく（笑）、お互い程よい距離感を保ちながら、それぞれの趣味の時間も大切にしているんです。



空き家バンク制度を活用し、セカンドライフを満喫されているKさん。塗装のプロとしての技術を存分に活かしつつ、理想の別荘暮らしを実現されました。時には趣味の単身旅を楽しみながら、ご夫婦でも適度な距離感を大切になさっている様子が印象的でした。古民家の魅力を再発見し、地域の活性化にも貢献する空き家バンク制度。Kさんの体験談は、同制度に関心をお持ちの方々にとって、大変参考になるものではないでしょうか。